



かづの土地改良区

事務局長 奈良 實

我が水土里ネットかづのは、鹿角市域に旧町村単位に置かれていた6土地改良区(鹿角市花輪、鹿角市瀬の沢、十和田末広、鹿角市八幡平、鹿角市間瀬川、鹿角市十和田)の合併により、平成15年4月発足しております。

合併時の関係面積1,703ha、組合員数2,343名でしたが、12年を経過した現在は面積で33ha、組合員数で266名の減少となっております。水土里ネットかづのの事務所は、鹿角市庁舎敷地内の鹿角市山村開発センターに間借りし、職員4人態勢で業務に当たっております。

当管内は、鹿角盆地の中心を流れる米代川や支流の大湯川、熊沢川などが主水源であり、その流域が広く水田農業の中心となっており、台地は北限の桃、鹿角りんごなどの樹園地、畑地に活用されております。

農業生産基盤整備関係事業において、近年では花輪地区県営ほ場整備事業が平成17年度に完成(受益者152名、受益面積107ha)、平成24年度には高屋地区県営ほ場整備事業(受益者63名、受益面積24ha)が完成しており、現在、平成27年度採択に向けて市域西部・末広地区で受益面積137haのほ場整備を計画しております。

今後は、昭和40年代に実施されたほ場整備の再整備が必要となっており、行政と連携して掘り起こし作業を行っております。頭首工をはじめ、用・排水路施設等は、大部分が築後50年以上を経過し老朽化が顕著になっており、中長期計画に基づく整備対応が求められていますが、米価急落、減反廃止、TPP交渉など農業の先行きが見通せない中で、組合員に今以上の負担を求めるることは至難であり、この対応にも苦慮しております。

また、管内の水田面積に対する土地改良区加入面積割合は47%と低く、ほ場整備事業実施に併せて土地改良区加入を推進していきたいと思います。農業従事者の高齢化、担い手不在という状況下で、本年度から実施された多面的機能支払交付金との関わりを強く持ちながら、農地・農業用施設は誰が守るのかを真摯に問いかけ、土地改良区が担う役割が益々重要になっていることに理解を求めていきたいと考えております。

また、都市化・混住化が進む地域での施設管理の複雑化、かんがい期・非かんがい期及び豪雨災害発生時等における用排水路管理の在り方など、土地改良区の業務運営には課題が山積している状況であります。



「随想」——シリーズ⑧

出会い

秋田県仙南土地改良区 田中美智子



暦のうえでは
春なのに、まだ
まだ、寒さが続
いております。

今私が思う事
は、日々生活し
ている中で、毎日当たり前の様に嫌なニュース
が耳に入ります。自分が子供の頃と重ね合
わせると、以前はゆっくりと時が過ぎて行つた
ような気が・・・今は情報化が進み、孤立した
自分を守ろうとする人達が多くなった気がし
ます。

そういう中で六年前、一人で東京に行く事に
なりました。田舎者の私は、不安の心を背に新
幹線に乗りました。「乗れば目的地へ着く」と考
えて気楽にいけばいいと思う反面、だれかに頼
ろうとしている自分がいることに気づきました。

無事目的地に着き、用事を済ませて帰りの新
幹線に座っていると、同年代の女性の方が隣に
座りました。一人の挨拶から、「一人でいらした
た。

「ですか?」「どちらまで行くんですか?」などと
話しているうちに、ゆつくりしました。女性の方は、仙台までと伺いました。車中、とても話が
弾みました。

そういったことで、名前と住所を交換した出
会いがあつたわけです。世の中で仕事、性格、
姿、家庭環境がこんなに似ている人と出会うこ
とがあるとは、思つてもいませんでした。今で
は、お互い良き相談相手であり、ふる里の美味
しさを交換したりと、ずっと前からの知り合い
のようにお付き合いをさせていただいており
ます。不安を持ちながら出かけた帰りの、思い
がけない素敵な出会いでした。今でも出会った
時の様子を話して、大笑いをしています。

暦も三月となり、別れがあり、出会いがある
時期に、私の出会いも、ちょっと文字に変えて
みました。皆さんにも、素敵な出会いがあると
いいですね。



出会いに乾杯

連合会日誌

2月20日	第4回理事会、第4回役員会	本会「第一会議室」
2月26日	平成26年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会総会	秋田市
3月11日	第8回秋田県土地改良区統合整備検討委員会	秋田市
3月17日	秋田県土地改良区統合整備推進協議会	本会「第一会議室」
3月17日	秋田県21世紀土地改良区創造運動推進本部員会議	本会「第一会議室」
3月18日	平成26年度秋田県農地・水環境保全向上対策地域協議会第2回通常総会	秋田市
3月19日	平成26年度秋田県管理円滑化事業推進委員会	本会「第一会議室」
3月19日	水土里ネット秋田 秋田支部通常総会	秋田市
3月19日	平成26年度秋田県換地等強化事業推進委員会	本会「第一会議室」
3月24日	平成26年度基金管理委員会	本会「第一会議室」
..... 今後の行事予定		
3月25日	全国土地改良事業団体連合会第57回通常総会	東京都
3月25日	全国水土里ネット表彰式	東京都

会員だより

事務所移転のお知らせ

○三種町土地改良区
〒018-2407
秋田県山本郡三種町浜田字上谷地21番地3
三種町八竜商工会2階

P12 のこたえ

質問1

配偶者(妻):1/2 子供①:1/4 子供②:1/4

質問2

配偶者(妻):2/3 父:1/6 母:1/6

質問3

配偶者(妻):3/4 妹①:1/8 妹②:1/8

身も心も熱くなる! 「刈和野の大綱引き」

水土里レポーター 佐藤 靖彦
(秋田県西仙北土地改良区)



本地域は、大仙市(旧西仙北町)で秋田県のほぼ中央に位置し、仙北平野の北西部に位置しております。大佐沢公園や、ぬく森温泉ユメリアから望む鳥海山と、仙北平野の田園風景の美しい自然や田園景観が豊富に存在しており、観光やレクリエーションの資源が豊富な地域であります。近年は秋田自動車道西仙北ICなどの広域的な交通体系が整備されております。

その中でも代表的なものは、国指定重要無形民俗文化財の『刈和野の大綱引き』です。今年度は「国民文化祭・あきた2014」のフィナーレを飾るイベントとして、秋田市広小路でも披露されました。刈和野の大綱引きは一説に500余年前に始まるといわれ、旧暦の1月15日(近年は毎年2月10日)町を上、下に二分して勝負を決し勝者がその年の市場開設権を獲得したことから因を発したといわれ、上町(二日町)が勝てば米の値段が上がり、下町(五日町)が勝てば豊作といわれどちらが勝ってもめでたいお祭りである。当日は、嫁いだ人も祭りに戻ってくるといわれています。

使用する綱は毎年新藁で作られ直径約80cm、綱の先端は陰陽を象徴しています。二日町の雄綱は陽の象徴で「ケン」とよばれ、長さは男の厄年を表す42尋(約64m)五日町の雌綱は陰の象徴で「サバグチ」とよばれ、長さは女の厄年を表す33尋(約50m)で重さはそれぞれ約10tにもなります。綱の準備は10月頃から始まり保育園児、小学生、中学生、高校生も手伝い作り上げます。

当日は浮島神社でご祈祷し、そこから『市神様』を大綱のある場所まで運び安置し、神官がご祈祷し、その年の年男が餅まきをし、8時頃から雄綱雌綱の合わせを行い、ころあいを見て『建元』の『ソララ』の合図により、一斉に提灯を振り『ジョヤーサノ』の掛け声で綱の引き合いが始まります。今年は28分の激戦の末、2年ぶりに下町『五日町』が勝利。

最初は観光のつもりでいても、いざ綱に『たぐつぐ』…つかまる…いつの間にか本気モードになり息切れするほど熱くなり、次の日は全身筋肉痛になるほどです。皆さんも一度は引いてみては。



第15回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール 入賞作品決定!!

「第15回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」では、日本の農業生産、農村の生活・文化・環境など幅広くとらえた農村風景の作品を募集し、「秋田の農業＆農村部門」(秋田県内で撮影された作品)、「日本の農業＆農村部門」(秋田県内を問わず、国内で撮影された作品)2部門において、県内に留まらず全国から写真を募集。県内外から集まった作品の中から、入賞作品6点、入選作品10点を選んだ。

入賞者は次の皆さん。(敬称略)

【BEST AKITA賞】大場建夫(由利本荘市)、【秋田に来てけれ賞】九嶋操(大館市)、【NOGYO PRO賞】渡邊次夫(秋田市)、石郷岡富男(秋田市)、佐藤義敏(秋田市)、中村章(横手市)、【NICENOSON賞】鈴木武男(秋田市)、高橋康雄(山形県遊佐町)、原田司(秋田市)、奈良茂雄(潟上市)、高橋真一(秋田市)、斎藤康樹(秋田市)、五十嵐信一(横手市)、阿部重助(由利本荘市)、濱田格子(秋田市)、阿部紀秋(山形県山形市)



BEST AKITA賞

「さあ～もうひとがんばりだ！」

山間地域における秋田のシルバー層の方達の
頑張りが伝わる力強い作品



秋田に来てけれ賞

「植付け」

構図が面白く、工夫された種芋の植え方も
『21世紀型農業』を象徴するような作品



5月30日は

水土里ネットゴミゼロDAY

全県一斉に農業水利施設内を巡回点検!

平成27年度も実施いたします!!



詳細は4月号でお知らせします。
水土里ネット秋田総務企画部

編集後記



「隨想」で田中事務局長がおっしゃっていましたが、3月は本当に出会いと別れの季節だなと実感します。先日、2年間行っていた「Akitaふるさと活力人養成セミナー」が終了しました。この取組は、県の農山村振興課が行っている中山間地域のコーディネーターを育てる講座で、座学から現地でのイベントまで様々な活動をさせて頂きました。その中で出会った仲間達との繋がりは、一生モノになると思います。こうした取組に積極的に参加させて頂けたのも、職場の協力や支えがあったからこそと感謝して、来年度からはじまる新たな取組へシフトチェンジして行きたいと思います！皆さんにも、良い春の風が吹いてきますように。

(総務企画班◇寺山)



【発行所】 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://www.akita-midori.net/>

